

73号棟を壊さないでください

高幡台団地住民の手記



高幡台団地 73号棟に住み続けたい住民の会

日野市程久保650 高幡台団地73-1

世話人 村田 栄法

電話

はじめに

この手記集は日野市議会議員と日野市長を始め日野市の関係者に、私たちの思いを伝えるために、「73号棟に住み続けたい住民の会」内外の住民から寄稿していただき作成したものです。

私たちは本パンフレット末尾に掲載している請願を日野市議会に提出しております。この請願には市議会の全会派、自民クラブ、公明党、市民クラブ、共産党の各代表と無党派2名に紹介議員となっただきました。先に開かれた6月議会では継続審査となりました。

今年1月と5月の団地内移転をへて、73号棟の住民は数が少なくなってまいりました。しかし、地震への恐れや家族の心配などから、心ならずも移転した人が多いのではないのでしょうか。

事実、新しい団地や住棟に慣れることができなく、体調を壊した人もいると聞きます。移転した住棟から毎日73号棟を眺め「やっぱり73号棟がよかった。できることなら戻りたい」と話している住民もいます。

73号棟問題は73号棟住民だけの問題ではないと思います。「耐震問題は人ごとではない。中層棟でもいつどうなるかわかったものではない」と私たちの署名に快く協力していただいております。今後ともお力添えをお願いいたします。

目次

住み慣れた住まい追われる心痛	73-	相沢 敏子	1
ななさんと樗	73-	畦地 豊彦	1
素晴らしい環境と心が癒される建物	73-	阿部 美江子	2
高齢者にとって引越は大きな負担	73-	海老沢 智栄	3
除却は時代の趨勢に逆行する		片山 由美子	4
古里を無くさないでください	73-		4
73号棟問題で詠める	73-	佐川 睦子	5
経緯を包み隠さず説明するのが出発点	73-	佐久間 由美	6
高幡台のシンボル、73号棟	73-		6
いのち、つながりを守る砦		田代 久美子	7
「73号棟に戻りたい・・・」		田中 容子	8
なぜ私たちの幸福と生活をこわすのですか	73-	中川 京子	8
住民追い出しに強く抗議します		林田 冨示	9
いつまでも住むことができるように	73-	村井 和子	9
高齢者に優しい本当のバリアフリー住宅	73-	村田 公子	10

住み慣れた住まい追われる心痛

73号棟■■■■号 相沢 敏子

高幡台団地に在住して38年になります。

昨年3月6日、高幡台団地自治会運営委員会より「速報」が配布されました。「73号棟は耐震不足、除却やむなしとの判断に至りました」と書いてありました。一方的な通告でした。

何故73号棟の住民に、せめて73号棟の代議員に召集をかけ、意見、相談を求めなかったのか？ 何故運営委員会だけで結論を出したのか。73号棟の住民は無視されたのです。

URは自治会が承認したので、当然73号棟住民が承知したと思ったのでしょうか。一方的に説明会を開き平成22年3月31日までの転居を求めてきました。

不可思議なことがあります。URと自治会役員の人たちは耐震不足のため住民の生命の安心、安全に不安があるから除却やむなしとっていますが、本当に生命の安心、安全を考えているのですか？ 地震は何時、何処で起こるかわかりません。それなのに何故2年間の期間があるのですか。

それほど危険度の高い建物なら、即時に転居させるべきでしょう。住民の生命の安全を求めるべきでしょう。さらに73号棟前の中層住宅の住民にも転居を求めるべきです。地震で73号棟が中層住宅に倒れる危険も考えられるからです。

73号棟を除却しなければならない理由の“真実”を知りたい。耐震補強はできないのですか。この団地に耐震工事を施し住み続ける。これが私たち夫婦ののぞみです。

この団地で子どもを育てました。親しい友人も大勢います。9階の2DKの住まいですが、日常生活、自然環境にも恵まれています。緑の多い見なれた四季折々の風景、窓から吹き抜ける風、清々しい空気。気管支喘息の持病がある私にとって最適な環境です。

73号棟に、この団地に住み続けたいのです。後期高齢者とよばれる年齢になり、来年の4月根は結婚50年目の金婚式を迎えようとしているのに……

なんとも切なくやりきれない想いです。住みなれた住まいを追い出される住民の心痛、お察しください。

ななさんと櫛

73号棟■■■■号 畦地 豊彦

けやき ななさんよ！ お前さん壊されるんだって？！

ななさん ええ、大きな音を立てて、崩れ落ちることになりそう……
でも、あなただって、伐られることになりそうよ！

けやき えっ！ やっぱり、やっぱりそうか……

ななさん ずいぶんと、住んでいる人達を風雨から守ってきてあげたんですけれどもね・・・
なんだか、私が地震に弱いからといって、どうしても壊すっていうものだから・・・

けやき 38年間だろう？ ここにきてどうして？

ななさん この間、私の体をあちこちさわったり、補強したりしていたんですけど、偉い人達がきゆうに駄目と判断したらしいの。

けやき 人間どものやることは分からないことだらけ・・・
都合で建てて、都合で壊す。それにしてももったいない！

ななさん そうよ！ あなただって私と一緒にそこに居るけど、今までだってあなたはずいぶん酷いめにあってきたわね・・・

けやき うん、ななさんが北風から守ってくれなかったらどうなっていたことやら・・・
照り返しが強くて！ こうも周りの土を削られてはね。
毎年毎年・・・、新芽を出すのがやっとかさ、我ながらよく生きているもんだ！

ななさん そうよ、あなたはがんばってきたわよ！
私のところにへんなおじさんが一人住んでいるの、ご存じ？

けやき ？！

ななさん このあいだ、へんなおじさんがあなたの前で、なにかぶつくさ言っていたようだけど、何を話していたの？

けやき ああ・・・、あのおじさんか。今はおじさんだけど、38年前は俺とおなじで、髪の毛はふさふさで、なかなかなものだったよ。
俺の側のベンチで煙草をふかして、俺をじっと見上げながら居るんだ。どうやらあいつは俺が好きらしい！

ななさん まあ！ 御馳走さま。あなたを愛する人がいるって素敵ですね！ そういう人がもっとたくさん居れば・・・
私は駄目かも、でもあなたは生き残れるかもしれませんねえ。

けやき ななさんよ！ そんなこと言わないでくれ。俺がどんな気持ちでいるか、よくわかっているくせに！！

ななさん あらあら・・・。へんなおじさんが私のところから出ていきますよ。きっとあなたのところへふらふらと行きますよ！

素晴らしい環境と心が癒される建物

73号棟 ■■■ 号 安部 美江子

私は平成17年9月末から高幡台団地73号棟に住んでおります。居住後間もないこの73号棟の除却報告は、まさに晴天の霹靂でした。

夫の急逝後、日野市に住む長男の意見で、インターネットで物件を調べ、URの立川事務所

を訪れ、環境や交通の利便性、エレベーター付の住棟希望を伝えました。担当者が「現住人が移転するのですぐリフォームして、9月中旬には完成する」というので、子どもたちとも下見をして入居を決めたのでした。

災害の折の避難所も近くにあり、安心でした。住み始めてすぐ、私自身の健康安定のために市役所で調べ、趣味と勉強のできる近所のサークルを探して入会し、現在も続けております。

東に日の出を、西に富士山を眺めることができ、四季の移り変わり目のあたりにできる73号棟は楽しみながら過ごせます。心が癒されます。バス停も近く、一階には郵便局、診療所、スーパーなどがあり、日常生活にありがたい存在です。

なぜ、このように環境のよい高幡台のシンボリックな建物が除却なのでしょう。URの無責任な言葉で処理されるのでしょうか。本当に心が痛みます。

すでに移転された方々から「73号棟がよかった」という声を聞きます。「住み続けたい住民の会」で建築専門家のお話を聞く機会がございました。耐震問題では、最新技術による補強は十分可能とのこと。一日も早く補強・改修をしていただくことを懇願しております。

小さな子どもたちが安心して住め、若者も、高齢者も一緒に混じって活気溢れる自然体の理想的な団地になることを望んでおります。

高齢者にとって引越しは大きな負担

73号棟 ■■■ 号 海老沢 智栄

エレベーターの中の短い会話

その1 名前を知らない中年の女性。私に突然「ここはエレベーターがあるから住みやすい所ですね。私は73号棟から出たくないです」

その2 ショッピングカートで乗り込んできた女性。「エレベーターがあるからこんな重い荷物でも下のグルメシティ（スーパー）で買い物できるのでありがたいです」

引越されるのですかと聞いたら、「いいえ、ここに残りたいです」

73号棟には空室が増えています。しかし喜んで引越した人はいないのではないのでしょうか。地震に対する不安に付け込むような仕打ちが許されるのでしょうか。

以前73号棟に住んでいて百草団地の高層棟に移った友人と話す機会がありました。「建物にはエレベーターがあるけど、バス停から建物まで56段の階段があり、重い荷物のときなどとても大変。失敗した」と話していました。

高齢者にとって、長年住んできたところから引越するという事は大変なことです。大きな負担になります。環境が変わると体調を崩しやすくなります。テレビでも高齢者問題で住居の果たす役割はとても大きいと指摘していました。そのとおりだと思います。この73号棟から移りたくありません。

除却は時代の趨勢に逆行する

片山 由美子

転勤族のわが家は家も持たず、正確に言えば持てず、日本住宅公団の時代から今日の UR まで、40年余り店子暮らしをして来た。

終の棲家と思う高幡台団地は突然、団地のセンター棟で、診療所、郵便局、スーパー等を備えた73号棟の除却問題が起きた。日常生活に欠かせない機能をもったこの棟が除却されると、この団地はいわば陸の孤島、高齢者指定となっているこの団地住民の困窮生活は眼に見える。寝耳に水のこの事態。建物が新しい耐震数値を満たしていないというが、現在の技術では十分補強できるとも聞く。

URは、73号棟から中央公民館分室迄の土地用途の変更を考えているとも聞く。

除却問題は、耐震不足にかこつけた他の目的ではとかんぐりたくもなる。本当に除却しかないのか。腑に落ちる説明もない。

今、時代の趨勢はスクラップ&ビルドではなく、現存の建物を上手に再生すべきと地球環境の面からも言われている。

わが国最大の大家URは、この事もよく考えるのが自身のためにもなると思う。

古里を無くさないでください

73号棟 号

私は17年間、この団地で少年野球の指導員をしてきました。当時の教え子たちも今ではみな成人し、立派な社会人として活躍しています。少年時代一緒に汗を流し、お互いに励ましあった仲間として、今でも年一回は集まって、飲んだり語り合ったりするのを楽しみにしています。

みな高幡台団地で大きくなりました。もちろん73号棟で生まれ、成長した人もいます。

彼らの卒業した高幡台小学校は隣の小学校と合併して廃校となり、その校舎は市の郷土資料館となってしまいました。この上、生まれ育った建物まで無くなってしまうのでしょうか。高幡台団地で育った子どもたちのふるさとを無くさないでほしいと願わずにられません。

それともうひとつ、私が納得できないのは、本当にこの73号棟が地震に弱く、耐震対策ができない建物なのかということです。URは説明会で、納得いくまで説明するといいいながら、私たちの情報公開請求にはまともに答えてくれません。このような態度で住民が納得するとも思っているのでしょうか。

住民が納得させるために、必要な資料やデータをすべて公開することは最低限の常識だと考えるのは間違いでしょうか。そんな態度が通用しないことは現代社会では常識だと思います。

私が73号棟に住み続けたいと考え、行動するのはこのような理由からです。

73号棟問題で詠める

73号棟■■■■号 佐川 睦子

あまたたび転居の果てのこの住棟
移転打ち止め決めてありしに

想定外の移転勧告説明会
人生終盤設計狂う

この桜これで見おさめならずやと
鳥のさえずる下を巡りぬ

本物の地震によりて果てるなら
いとわずなれどさりとは言えず

二十年われを支えし歳月の
人工地震見るに忍びず

持家を果たさず来たるわが生を
今更にする胸の疼（うず）きよ

風邪癒えしと思いに吐き気する
気のふさがりに関わりてにや

再生は居住者の意向くみ入れよ
金持に供する地にはなすまじ

この先のわが残照をいかに生く
何処（どこ）探がせどもよすがは見えず

身の整理のチャンス至れりと
前向きがよしさはさりながら

経緯を包み隠さず説明するのが出発点

73号棟■■■■号 佐久間 由美

私たち夫婦が73号棟へ引っ越してきてまだ5年もたちません。私がこの73号棟の除却問題を知ったのは高幡台団地自治会の「速報」でした。そこには「除却やむなし」の言葉がありました。

当時私たちは73号棟に知り合いが一人もいませんでしたので、誰に相談したらよいのかわかりませんでした。不安の日々だったのを思い出します。なぜこのような重要なことを住民の意見を聞かないで自治会運営委員会が決めてしまうのか、ショックでした。

「速報」から二週間後の昨年3月末、七生公会堂でURの説明会がありました。ピンクと青の2冊の説明書を配られてまたショック。壇上には何人も代わる代わるの人が立ち、スライド使った説明が長々と続きました。納得できない私がいてもたってもいられなくなって質問したら「URの話聞きなさい」と怒られる始末でした。

あれから1年余が過ぎました。URに対して最も不思議なのは危険建物と判明したのなら即皆を避難させなかったのか、なぜ二年も猶予を与えたのか。納得いく説明を私は聞いていません。この73号棟除却問題はどこで決定されたのか。誰が決めたのか。最も重要な点がまったく説明されていないように思います。これらの経緯を包み隠さず説明することが出発点となるのではないのでしょうか。

友だちもいない73号棟の生活でしたが、今では「住民の会」の皆さまと知り合いになることができました。昨年春のあの何がどうなのか全くわからなくて悩み、不安だったころと違っています。これも住民の皆さまと知り合え、友だちになれたからだと感謝しております。

高幡台のシンボル、73号棟

73号棟■■■■号 ■■■■

私たちの結婚生活、子育ては73号棟で始まった。この思い出多い73号棟がURの勝手な戦略により壊されてしまうのか。実に馬鹿にした話である。

私は子どものころ、親の仕事の都合により、住まいを転々とした時期があり、幼馴染がいない。しかし子どもたちは小学、中学時代をこの高幡台団地で過ごし、成長した。その同級生と年に何度か集会所で鍋を囲んだりする話を聞きながら、親としては嬉しく、微笑ましい思い出いっぱいであった。

そんな友達との思い出もなくなり、バラバラにされ、もしかしたら会えるチャンスも失ってしまうかもしれない。子どもたちにとってこの高幡台団地は、日本中で唯一の故郷なのである。

73号棟は高幡台団地のシンボルであり、集会所や商店街（すでに大部分がなくなってしまう

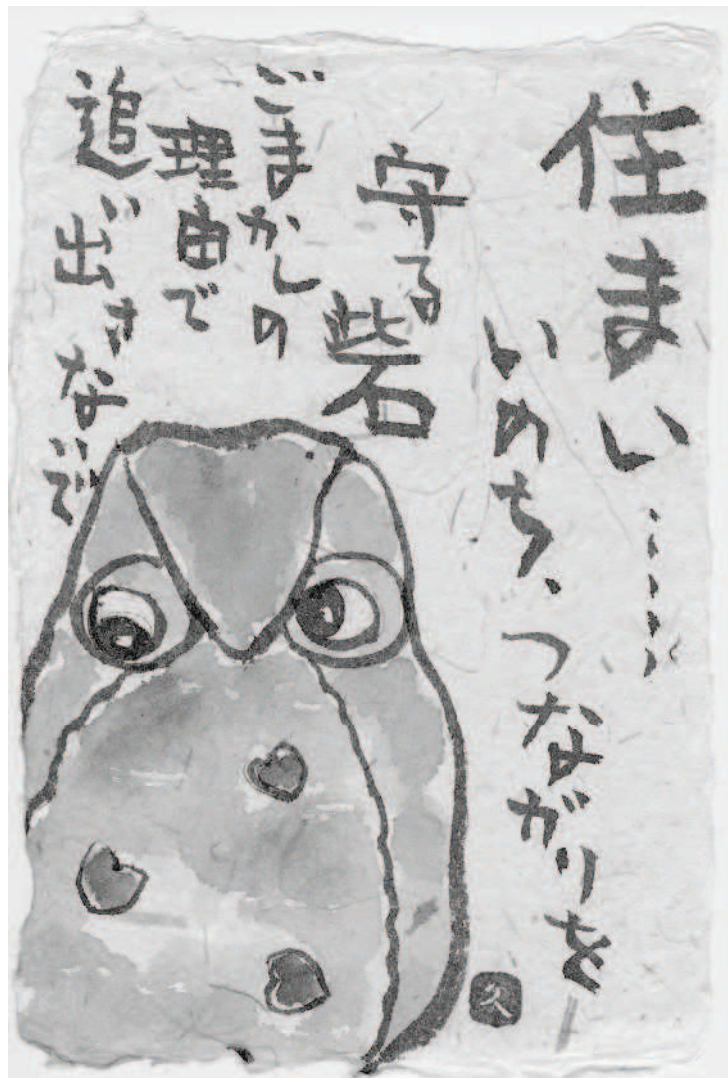
ったが) がある。この建物が解体されると、住民の生活を根本から変えてしまう。

73号棟を存続させ、高幡台団地全体を活気ある住みよい団地に変えて、以前のような明るい団地にしてほしい。

73号棟がなくなった高幡台団地など、想像もできないし見たくもない。

いのち、つながりを守る砦

田代 久美子



「73号棟に戻りたい・・・」

田中 容子

私は、7年前から高幡台団地に住んでいますが、中層階の方なので、これまで、73号棟の友人は殆んどおりませんでした。

今回の問題が起き、「住民の会」に参加するようになってから、73号棟の方々とお話する機会が多くなり、今では、20人、30人と親しくおつき合いです方がふえました。独り住まいの高齢者の女性が圧倒的に多く、ほとんどの方は、「いまさら、新しいところへ移るのはイヤ」「知らない所へ引っ越したら寿命がちぢんでしまう」と本音をもらしておられました。

しかしこの一年間に、いやいや引っ越して行かれた方が何人もいます。聞いてみると、大部分の方が、他所に住む家族や親戚から、繰り返し「引っ越したほうが良い」と言われ、自分の気持ちを通しきれず、しぶしぶ引っ越された方が多いのです。

だから今でも、「73号棟がよかった」という思いを捨てきれずにいます。

他のUR団地に移った80代の女性は、電話で想いを吐き出します。

「お正月の朝、我が家から初日の出と、真っ白な富士山を見た感動が忘れられない。10階だったから、夏は玄関のドアも開けっ放しで、いい風が通り抜けていたのに、今は2階なので、一日中カーテンを閉め切っている。もし耐震工事をして73号棟に住めるようになったら、また戻りたい」と。胸が痛みます。

なぜ私たちの幸福と生活をこわすのですか

73号棟 号 中川 京子

平成20年3月、耐震強度不足で73号棟は除却する。降って沸いた話でした。

私はこの73号棟に昭和46年に入居。子どもと祖母と私の4人。この素敵な団地に入居してきたときの気持ちはたえようもありませんでした。

今現在80歳になりました。仕事上の私は生活に忙しく、四季の移り変わりを楽しんでいる時間ありませんでした。やっと定年になり、子どもも成長し、ホットして辺りを眺めることができ、ここに住んでいることに感謝していました。このような景色がよく、素晴らしい環境の73号棟を「終の棲家」と思いながら生活していました。それなのになぜ私たちの幸福を、住民の生活をこわすのでしょうか。

高幡台団地にも自治会があります。しかし自治会では直接の当事者である私たち73号棟住民の話を受けないまま、73号棟除却やむなしとの態度を決めてしまいました。私はいいよのない憤りを感じました。心労から病気になり入院した人もいました。今にも地震が来て建物が壊れるのではないかと心配し、心ならずも引越しをした人もいます。しかし高齢者が住居を移

るというのは大変なことです。我慢、辛抱が要ります。きついことです。この住みよい団地をなぜ出ていかなければならないか、話をすると一様に“なぜ”という言葉が返ってきます。

私たちの憤りは今、一つ一つ階段を踏んでいます。UR に私たちの疑問点を情報公開請求しました。不十分な情報公開に異議申し立てし、先日は内閣府にまで意見書を提出いたしました。

高幡台団地73号棟の問題を皆さまにお伝えしたく筆をとりました。話を聞いていただければどこへでもお伺いいたします。

住民追い出しに強く抗議します

林田 冏示

「顔色が悪いけど、どうかしたんですか？」と知り合いの73号棟の年配の女性に声をかけたのが去年の春でした。

「73号棟は地震のときに弱いことが分かったんで、出ていってくれって、UR から言われたんです。それを聞いてから具合が悪くなって…」という返事でした。

女性の具合はどんどん悪くなり、肺炎を引き起こしてしまいました。

後で聞くと、何人もの方が体調を崩されたといえます。

UR はなぜそんな理不尽なことをするのか。けしからんと思いました。

私は五階建に住んでいますが、73号棟には郵便局や診療所やスーパーやクリーニング店があり、集会所もあって、いつも便利に利用しています。そうしたものがなくなってしまうと、日常の生活がとても不便になってしまいます。

ともかく、73号棟を取り壊されると、たいへん困ります。まして、長年住んでおられる年配の方たちを追い出すような仕打ちには、強く抗議します。

いつまでも住むことができるように

73号棟 村井 和子

私は73号棟に住んで23年になります。この73号棟を「終の棲家」とするつもりでおりました。

昨年春、いきなりこの建物は危険だから除却するので立ち退くようにいわれ途方にくれました。あの時は体調を崩された方も多く、入院された方もおりました。

「73号棟は危険な建物」だと決め付けた高幡台団地自治会のチラシを信じ、引越しを決めた方も多かったようです。高幡台団地の他の住棟に引っ越した友人は、引越しはしたものの、気持ちが落ち着かず、安定剤を飲んでいるそうです。

もう富士山の景色も見ることができないと淋しそうでした。

私は住宅公団にも関係した設計関係の職場で働いておりました。自治会のチラシにあったような危険な建物を建て、住民を住まわせてきたとはどうも考えられません。

いつまでもこの73号棟に住み続けることができるよう、「住民の会」の一員として頑張っております。よろしくお力添えをお願いいたします。

高齢者に優しい本当のバリアフリー住宅

73号棟■■■■号 村田 公子

豊かな木々の緑、小鳥のさえずり、澄んだ空気のなかで静かな生活ができて、本当に幸せに思っておりました。

この地で子育てもでき、子どもたちも巣立っていきました。ともかく健やかに、思いやりのある人間にと願って育てました。

昨年の3月、私は定年を迎え、35年余の職場通いを終えました。それまでの日常生活は朝早く家を出、夜更けて帰宅する毎日。この空間が、住まいが、こんなに愛しいと感じる余裕はありませんでした。

私の退職と同時期の突然の73号棟除却の通知は、まさに「寝耳に水」。何かの間違いではないかと思いました。

幸か不幸か私は定年となり、少し時間的余裕が生まれ、住まいについて考えさせられ、この73号棟の住まいとしての優しさを再認識しました。それは、高齢になっても、障害者（身体的に）になっても生活できることです。それは健常者にとっても大切なことです。

私は今までも何回か訴える機会がありました。建物の中だけのバリアフリーでは生活の場が狭められます。周辺の道路から、そして駐車場からスロープを通して住居内に行き来できることが大切なことです。これらの条件が満たされ、生活するための諸施設が整備されているこの73号棟こそ残すべきであると考え、訴えてきました。

住まいの問題は奥が深く、文化です。今まで交流することもなかったたくさんの人々と触れあうことになりました。これからも楽しく学びあいながら、どうしたら住み続けられるか、私なりに考え、行動したいと思っております。

(2009-06-08)

高幡台団地 73号棟の存続と 必要な耐震対策の実施を求める請願



請願代表者

高幡台団地 73号棟に住み続けたい住民の会

事務局

村田栄法

日野市程久保 650-73-XXXXXXXXXX

独立行政法人都市機構は昨年3月、高幡台団地73号棟は耐震強度が不足しており、耐震対策を施すには多大な費用がかかるため建物を取り壊すこととしたと発表しました。そして私たち住民には平成22年3月末までに73号棟から立ち退くよう迫っております。

UR都市機構は住民説明会を開きましたが、私たちは、なぜ除却しなければならないのか納得いく説明を聞くことはできませんでした。さらに、私たちが求めた情報公開請求にもまともに答えようとしておりません。

唯一エレベーターのある73号棟には数多くの高齢者が居住しています。この問題は、単に73号棟に住む住民のだけのものではなく、高幡台団地住民全体、さらには高幡台団地のスーパー等各施設を利用している近隣住民の生活にまでも大きな影響を与える重大問題です。

昨年12月の日野市議会で馬場市長が、日野市として73号棟の存続をURに要望していると表明されたことは、私たち73号棟住民にとって大きな励ましでした。

私たちは、73号棟に住み続けたいと願っております。現代の科学技術をもってするなら、耐震方策はあると思います。UR都市機構が、必要な耐震対策を速やかに実施してくれることを願っております。

住みなれた73号棟に住み続けることができるよう、スーパーや診療所、郵便局がある団地センター棟である73号棟が存続できるよう、以下の点をお願いいたします。

請願事項

- 1、高幡台団地73号棟の存続をURに働きかけてください。
- 2、必要な耐震対策を速やかに実施してくれるようURに働きかけてください。

日野市議会議長 様

氏名	住所